



(別添 3)

助 成 金 利 用 報 告 書

平成 23 年 11 月 28 日提出

小学校名	尼崎市立浜小学校	
学校長名	市川 勉	
担当者名	新田 達矢	
メールアドレス	e15-school@nd.ama-net.ed.jp	
電話番号	06-6499-1536	
FAX 番号	06-6499-1535	
報告内容	<p>第 4 学年を対象に、社会科や総合的な学習の時間の授業の中で教科書から水のゆくえや節水の大切さを学び、さらに、関連施設への社会見学や体験等の教室に参加することで、家庭や自分の生活に活かすことができるように計画をした。</p> <p>1. 授業内容</p> <p>社会科の授業では、教科書（教育出版）と地域教科書「わたしたちの尼崎」を使用し、普段生活する中で使用している水がどこからやってくるのかを学習した。</p> <p>まず、導入として、学校の中で水が使われている場所を探し、その水はどこからやってくるのかを考えた。子どもたちにとっては、「蛇口をひねると水が出ることは当たり前」と考える子が多く、改めて考えさせると不思議に思ったり推測をたてたりして興味を持つ子が増えてきた。子どもたちの中からは、川から直接とってくる、雨水を使う、校区にあるということもあり浄水場から送られてくる、などの意見が出た。</p> <p>次に、川の水や雨水を使うと病気になったりにおいがしたりするなど、さまざまな危険があることを理解し、水をきれいにする浄水場という施設の必要性を知った。校区には、神崎浄水場という施設があり、社会見学へ行く前に浄水場の設備やたくさんの工程を経て水がきれいになっていくことを学習し、見学の意欲を高めた。</p> <p>2. 神崎浄水場見学（6/23）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"></div>	

報告
内容

神崎浄水場では、場内を見学させていただいたほかに、ビデオ観賞やろ過の様子についての簡易実験もしてくださった。

場内見学では、着水井、沈殿池、オゾン接触池、ろ過池を実際に見せていただいた。着水井では、淀川の水がそのまま流れてくるので、少しにごっていてとても飲める状態ではなかった。しかし、沈殿池に進むと水の中のまざりものが底に沈み、澄んだ水へと変化していった。子どもたちは、着水井の水がどんどんきれいな水へと変化する様子を見て、驚いていた。また、ろ過池では、まざりものやにおいを取り除いた飲み水になる一歩手前の水を見せていただいた。見学の後に、できたばかりの水道水を飲むことができ、多くの時間と手間をかけてきれいになっていることを知った子どもたちは、「めっちゃおいしい。」と、水道水をおいしそうに飲んでいた。

さらに、簡易実験では、水がきれいになる仕組みとして、沈殿池で起きていることや水道水の安全性を実験道具を用いて間近で見ることができたので、見学内容と合わせて理解が深まり、水は大切なものだということを全体で共有することができた。



3. P&G 環境教室 (7/15)

浄水場見学の後、大切な水を無駄にせず使う方法や水が循環していることを学習した。そして、これまでの学習のまとめとして、P&G 社に環境教室の出張授業実施を依頼した。

環境教室では、トイレやお風呂など日常生活の中でどれだけの水を使用しているかを考えたり、水の使用量を制限するための工夫を学んだりした。子どもたちは、学習したことを確認しながら、節水の方法をわすれないようにメモすることができた。その後、夏休みには「お家でレッツ節水！」と題して、環境教室で学習した節水についての取り組みを家庭で実践させた。



4. 武庫川下流浄化センター見学 (9/29)

一学期は主に生活に使用するきれいな水について学習した。二学期は浄化センター見学の日程に合わせて、使い終わった水がどこへいくのかについて「みんなの循環のみち下水道」環境教育ポータルサイトのテキストを活用しながら学習することにした。今回、武庫川下流浄化センターへの社会見学の費用として、「循環のみち下水道環境教育助成金」を使用させていただいた。尼崎市にある浄化センターの中でも、浄化した水を放流する様子を見られるのと、周辺市の下水処理汚泥を処理する設備があるのは武庫川下流浄化センターのみである。そのため、見学先として選択した。

武庫川下流浄化センターでは、まず、施設見学をさせていただいた。最初沈殿池の水の色やにおいを見たり嗅いだりした子どもたちは、人が使用することで水がこんなにも汚れてしまうことを身をもって体験し、たいへん驚いていた。





反応タンクを通るうちに、ゴミやにおいが取り除かれていく様子も見ることができ、その後塩素で処理をして、最後には海へ放流するところもを見せていただいた。放流されている場所に魚や鳥が集まっていたので、安全な水にかえてから放流されているということを改めて納得していた。



武庫川下流浄化センターでは、その他に顕微鏡で水の汚れを浄化する微生物の姿を見せていただいた。子どもたちは微生物の形や種類の多さに関心をもち、薬だけではなく小さな生き物も水の浄化を助けていることに興味をもっていた。



<p style="text-align: center;">報告 内容</p>	<p>これらの学習や社会見学を通して、浜小学校の四年生は水の大切さを学んできた。その中で子どもたちに上水、下水処理に対する意識づけをすることや限りある水資源を有効に使うこと、尼崎市では下水道が整備されていることを知ることができた。しかし、今後の課題として、水が大切なものであるということを意識し続けることが挙げられる。これについては、社会科のごみの学習でポイ捨てしたごみの下水道などへの負担を考えさせたり、総合的な学習の時間で引き続き 3R をはじめとする環境学習を行ったりして他教科と関連させながら、年間を通して指導を続けていくことで解決をはかり、水をはじめとする資源を大切にす社会人となっていくよう指導していきたい。</p>  
<p>助成金利用に関するご意見・ご要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・申請時期と実施時期が異なるため、見積もりをとってから変更をお願いするなどご迷惑をおかけしました。 ・助成金を活用させていただいたので、例年より多く施設見学を行うことができました。限られた予算でたくさんの体験を、と考える学校側としては、たいへんありがたい制度でした。ありがとうございました。